

授 業 科 目 名	英語 コミュニケーションII	教 員 名	マイルズ・カイザワ	免許・資格 と の 関 係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
					保育士	必修
授 業 形 態	演習	担当形態	単独	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
科 目 番 号	GAI102	配当年次	2年前期		小幼コース	必修
単 位 数	1 単位				幼保コース	必修
科 目						
各科目に含める 必 要 事 項						
科 目						
系 列						
一 般 目 標	英語の基本的な構文を正しく理解し、身の回りの事柄や社会的な事柄を理解し表現するための語彙 力を身に付けることを目標とする。 (1) とくに 英語を「聞く」「話す」ことに重点を置くが、より正確な英語を身に付けるために「読 む」「書く」活動も取り入れる 。 (2) 英語を聞いて理解し、聞いた事柄に対して、流暢さと正確さの両面で「聞いてわかる」英語 で返答できるようになる 。 (3) 英語を読んできちんと理解したり、正確な英語を書いたりすることができるようになる 。 (4) 教育学部における英語コミュニケーションの 授業ということを考慮して、内容は学校で行わ れるコミュニケーションを想定し、そのために必要な英単語、英語表 現を身に付ける 。 The goal is for students to correctly understand basic English syntax and acquire the vocabulary neces- sary to understand and express themselves in everyday and social matters. (1) Emphasis will be placed on listening and speaking English, but reading and writing activities will also be included in order to develop more accurate English. (2) Students will be able to listen to and understand English and respond to what they hear with both fluency and accuracy in comprehensible English. (3) Students will be able to read and understand English and write accurate English. (4) Considering that this is an English communication class in the Faculty of Education, the content of the course assumes communication that takes place in schools, and students will ac- quire the English vocabulary and expressions necessary for such communication.					
到 達 目 標	自信を持って英語を使うことに慣れ、身の回りの日常的な出来事だけでなく、教員を目指す学 生 として 学校生活における専門的な表現にも親しみ、使えるようになること。さらに、児童・生 徒に教える小学校英語は基本的な英語ではあるが、児童・生徒の前で英語を使うのであるから、 模範となるような 英語を使えるようになること。 To become accustomed to using English with confidence and to become familiar with and be able to use English not only for everyday occasions, but also for communicating pro- fessionally in schools. Furthermore, although only basic English is taught to elemen- tary school students, this course aims to help students improve their English so that they may serve as a model English speaker for their stu- dents.					
授 業 の 概 要	授業はテキストとワークシートに沿って進めて行く。英語を聞いて理解し、コミュニケーション活動をし、書い てあ ることを正確に読み取り、出て来た表現を使って英文を組み立てる、といった基本的な英語の 学習を繰り返しながら					

	<p>らすすめていく。とくにReadingのセクションは 比較的やさしい 英文で書かれているが、これを正確に読む訓練をすることで、語彙・語法を身につけていく。</p> <p>教科書とワークシートの内容は一貫して学校という特定の場所が想定されているため、学校・教科・授業といった事柄に関連する英語表現が多いが、同時に日常生活や身の回りの事柄、子どもの遊びや日本文化 に関連した事柄を表す英語表現も学ぶことができるようになっている。当然、これらのことを正 確に伝えるために、現在・過去・現在完了などの時制や、進行形・受動態・比較級・最上級、前置 詞・副詞等の使い方、も意識する必要がある。それらの 文法事項もおろそかにすることなく 確認 しながら、英語の構文を理解し、アウトプットのための語彙力を身につけて行く。小学校教諭</p> <p>幼稚園教諭 必修 保育士 必修 こども音楽療育士 小幼コース 必修 幼保コース 必修</p> <p>教員を目指す学部であるため、将来は児童・生徒の前に立って模範となるような英語を使うとい うことを常に念頭に置き、自信を持って英語が使えるようになることを目指す。</p> <p>The class will follow the textbook and worksheets. Students will repeat basic English learning activities such as listening to and understanding English, engaging in communicative activities, accurately reading what is written, and constructing English sentences using the expressions that appear in the text. In particular, the Reading section is written in relatively easy English, and students will acquire vocabulary and grammar by practicing accurate reading of the text.</p> <p>The textbook and worksheets are designed to be used in a specific school setting, so many of the English expressions are related to school, subjects, and classes, but students will also learn English expressions for everyday life, everyday matters, children's games, and Japanese culture. Naturally, to accurately convey these matters, it is necessary to be aware of tenses such as present, past, and present perfect, as well as the use of progressive, passive, comparative, and superlative tenses, prepositions, adverbs, and so on. While checking these grammatical points without neglecting them, students will acquire an understanding of English syntax and vocabulary for output. Elementary school teacher</p> <p>Kindergarten teacher compulsory Nursery school teacher compulsory Children's music therapist compulsory Elementary school course compulsory Preschool course compulsory</p> <p>As a department aiming to become a teacher, the goal is for students to be able to use English with confidence, always keeping in mind that they will be able to stand in front of students in the future and use English as a role model.</p>
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「3. 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている。」「7. 基礎的な英会話及び音楽力を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p> <p>なお、クラスサイズは20名程度とする。</p>
授 業 計 画	<p>授業の進度に応じて、変更することもある)</p> <p>第1回: 授業のオリエンテーション 授業の到達目標、授業の進め方、評価について説明し、次回以降の授業の準備を行う。初回のダイアログ練習は挨拶の練習をし、次回の授業から最初に英語で挨拶できるように、教室で英語を使うことに慣れていく。</p> <p>第2回: Review of Communication I 初めて会った時の会話。会話をつないでいくために大切なのは質問をすることである。すぐに疑問文を作ることができるように言い換え練習をする。疑問文と答え方の復習をしながら会話練習をし、質問をしながら Activity を行う。</p> <p>第3回: Possessions 物や持ち物について話す。 Talk about objects, personal belongings, Repeat + Comment &amp; Question</p> <p>第4回: Shopping 何かを尋ねたり、値段を聞いたり、注文をする。地元の店で話す、店員に欲しいものを伝える。 Asking what something is, asking prices, placing orders. Talking in a local shop, telling the clerk what you want.</p> <p>第5回: Travel 交通手段、イベントや会議の日程について話す。 Talking about modes of transportation, dates of events and meetings.</p> <p>第6回: Daily activities 日常の活動について話す 5つのW: 誰が、何を、いつ、どこで、なぜ</p>

	<p>Talking about everyday activities 5 Ws: Who, what, when, where, and why.</p> <p>第7回: Giving and Receiving 贈り物の授受、分かち合い、補い合いについて話す。 Talking about giving and receiving gifts, sharing, and complementing.</p> <p>第8回: ダイアログ発表・復習テスト 今までに練習したダイアログを基に、いろいろな表現をとりいれてそれを膨らませ、ペアでオリジナルのダイアログを発表する。また残りの時間で、Unit6 までの復習テストを行う。</p> <p>第9回: Preferences 好き嫌いについて、その理由と理由を中心に話す。 Talking about likes and dislikes with a focus on why and why not.</p> <p>第10回: Hopes and wishes やりたいこと、達成したいことについて話すこと。 Talking about things you want to do and achieve.</p> <p>第11回: Explanation プランの詳細、一連の行動、スケジュールについて語る。質疑応答 Talking about plans in detail, sequence of actions, and schedules. Q &amp; A.</p> <p>第12回: Asking permission 何かをする許可を求めること、許可すること、そして拒否すること。 Asking permission to do something, granting, and refusing permission.</p> <p>第13回: Forbidding someone or something 誰かが何かをすることができない理由を説明すること、間違った行動について謝罪すること。間違いにどう対処するか。 Giving reasons why someone cannot do something, apologizing for wrong actions. How to handle mistakes.</p> <p>第14回: Explaining actions and Describing things 誰かがしていることや、場所や物事の特徴について話す。 Talking about what someone is doing and the characteristics of places and things.</p> <p>第15回: プレゼンテーション 事柄についてプレゼンテーションを行う。</p> <p>定期試験</p>
学生に対する評価	<p>評価：次の観点から総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の準備（予習・課題）…………… 20%（提出物は評価して返却）</li> <li>・授業中の活動（ペア/グループ活動・発表）・ 20%（出席して活動していればプラス・非活動的であればマイナスにすることもあり得る）</li> <li>・授業内容の理解（提出物・小テスト）…………… 30%（提出物は期日を守ること。原則として遅れたら受け取らない。）</li> <li>・期末テスト…………… 30%（60%を取ること）</li> </ul> <p>レポート/答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
時間外の学習について	授業外で、週に2時間程度の時間を使って予習・復習をすること。付属のCDがあるので、授業外でもそれを何度も聞いて活用することがのぞましい。
テキスト	Smart Choice Level 1 Multi-Pack Student Book/Workbook Split Edition B
参考書・参考資料等	必要に応じてワークシート、参考文献等を配布する。
担当者からのメッセージ	<p>クラス分けの基準は、習熟度による。</p> <p>一コマの授業で一ユニットを終えるので、予習は必須である。わからない単語は辞書で調べ、調べてもわからない英語表現は必ず質問をして、ひとつひとつ確認しながら授業に望むこと。</p> <p>英語を使うことに慣れてもらうための授業なので、英語の基本的な構文を理解し、英語をコミュニケーションの道具として使うことを意識すること。</p>
オフィスアワー	授業で伝える。